

## 議員インターンシップに参加して

8月・9月の2ヶ月間、ひび美咲事務所において2名の大学生がインターンシップ生として活動しました。名古屋市会の委員会傍聴や視察、早朝街頭、地域のお祭りなど、ひび議員に同行した実地体験を基に、その感想を話してもらいました。

中京大学1年 M.K.さん / 愛知大学1年 R.Y.さん



### ひび美咲 今回の活動で印象に残ったことは？

古川事務所で行なった合同ディベートが印象に残っています。非常に緊張しましたが、自分の弱点を見つめ直すいい機会になりました。最終報告会に活かしたいです。

M.K.さん

ひび議員の東京出張に同行し、国政の現場を視察したり、企業のトップ対談を聞く機会を得られ、視野が広がりました。

R.Y.さん

### ひび美咲 市会議員の仕事を体験して感じたことは？

これまで政治家とは、テレビで見る遠い存在だと思っていました。でも実は地元にも、しかも市会議員の方々は身近にいるんだと親近感を感じました。

R.Y.さん

活動前は市会議員と言われても、何をしている仕事なのかイメージが思い浮かびませんでした。実際に同行して、地域との繋がりが大きく、周りの方々の支援あってこそその職業なのだと感じました。

M.K.さん



名古屋市交通局・藤が丘電車工場の視察風景  
電車の整備や緊急時の対応などの話を聞きました。  
身近な市民の足は、交通のプロフェッショナルに支えられて  
いることを実感。

インターン生の思い出



地域の夏祭り会場にて  
ひび事務所として、射的の屋台を設営・運営しました。  
子どもたちの笑顔に私たちも童心にかえり楽しいひと  
ときでした。

## 旅行のご案内 新春!京都の初詣 ～伏見稲荷・嵐山・平安神宮～

新年の参拝に京都旅行はいかがですか。  
ひび美咲が同行させていただきます。

[6:40頃]名東区各地→[10:20]伏見稲荷大社参拝→[12:05]  
嵐山(昼食)→[14:00]京つけもの・大安(お買物)→[14:40]  
平安神宮参拝→[18:30頃]名東区各地

開催日 2019年1月14日(月)

参加料金 8,000円(昼食付・お一人様)

※定員になり次第締め切ります。  
お申込み・お支払いはひび美咲事務所までご連絡ください。

## 市政報告会のご案内

## ひび美咲と語る会

2歳の息子の育児と市会議員の仕事、どちらも大事。  
慌ただしく日々を過ごす中で、地域のことや子育て環境の  
こと、名古屋市のこと、名東区の未来を多くの方々といっ  
くり話し合いたいとこの会を立ち上げました。  
ぜひお気軽にお立ち寄りください。

開催日 2018年10月27日(土)/11月24日(土)

時間 10時30分より(約1時間)

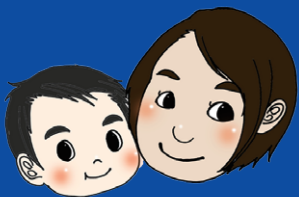
場所 ひび美咲事務所

ひび美咲事務所 平日 午前10時～午後5時まで

〒465-0025 名古屋市名東区上社1-402 柴昭ビル1E  
TEL: 052-777-3193 FAX: 052-777-7330 Email: hibikenoffice@hibiken.com

https://www.facebook.com/hibi.misaki/

https://www.instagram.com/misaki.hibi/



# 2018年秋号 ひび美咲便り

国民民主  
KOKUMIN MINSHU PRESS  
国民民主党 国民民主プレス 編集部  
〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1  
電話: 03-3595-9988 (代表)

地域の皆さまのお困りごとに、国・県・市で連携し、  
ワンストップサービスでお応えします。

国 衆議院議員 古川元久 県 愛知県議会議員 富田昭雄 市 名古屋市議員 ひび美咲

## 一歩一歩、想いをカタチに。

名古屋市議員

# ひび美咲

経済水道委員会 委員 / 安心・安全なまちづくり対策特別委員会 副委員長

## プロフィール

昭和60年生まれの33歳。4月から保育園に通い始めた2歳の息子の育児と仕事に、日々奮闘中。  
モットーは「困難に直面した時や、辛い時こそ笑顔」。

## ごあいさつ

今年の夏は猛暑が続き、全国各地で震災や災害が続きました。被災された方、また被災地に親族がいる方々に、心からお見舞い申し上げます。ここ名古屋市でも、南海トラフ地震が30年以内に70%～80%の確率で発生されると言われる中、万が一の際には自分の命は自分で守る事が出来る様、防災意識を常にもち、来るべき災害に備えて市民の生命と財産を守るための取り組みをしっかりと審議したいと思います。

名古屋市議会は、35日間という1年で一番開催期間の長い、9月の定例会が始まりました。ここで今年度の決算審議を行います。歳入歳出予算の執行の結果・実績に基づき、それぞれの問題点や課題を整理し、見直しを行う議会です。皆様からお預かりした名東区の市会議員としての立場、そして子育てをする母の立場、働くものとしての立場で、しっかりと自分の任を果たして参りたいと考えております。

## 「想いをつなぐ」私の5つのお約束

1. 子ども達の学び、育ちを、政治の力で支えます。
2. 敬老パスを堅持し、利用拡大を目指します。
3. 骨髄バンクの普及啓発と、患者や家族を支える環境を整えます。
4. 市民のいのちと生活を守り、将来世代につなげます。
5. 出来る事、出来ない事を正直に提案する政治を実現します。

## ひび美咲



# 議会だより -6月定例議会-

## 一般質問を行いました

### 地下鉄駅のリフレッシュ工事について

**ひび美咲** 昨年開業60周年を迎えた本市の地下鉄。安全についての設備投資や改修は行われているが、駅施設の老朽化が目立つ。早急に内装や施設のリフレッシュ工事を行う必要があると考えるが、今後どのように対処されていくのか。

**交通局長** 現在、地下鉄駅87駅のうち、開業から40年以上経過した駅は過半数の48駅あり、このうち16駅は50年以上を経過している。老朽化への対処とお客様の快適性の向上のため、リフレッシュ工事などを検討する必要があると考えている。  
工事に当たっては、多額の費用が必要となるほか営業しながらの工事となるため、計画的に進めていくことが重要であると考えている。以上をを念頭に置きつつ、今後前向きに検討していく。



地下鉄駅老朽化で内装改修など検討  
市は市営地下鉄駅の内装などを改修する「リフレッシュ工事」の実施を検討する。営業中の対応となり、多額の費用や一定の工事期間が必要になるため、計画を立てて進める方針。日比美咲議員(民主)の質問に答えた。

市営地下鉄の全八十七駅のうち、開業から四十年以上経過したのは四十八駅あり、うち十六駅は五十年以上経過している。  
日比議員は「さまざまな箇所での老朽化が目立つ」などと指摘。光田清美・交通局長は「快適で安全に利用していただくことは大変重要。前向きに検討したい」と答えた。

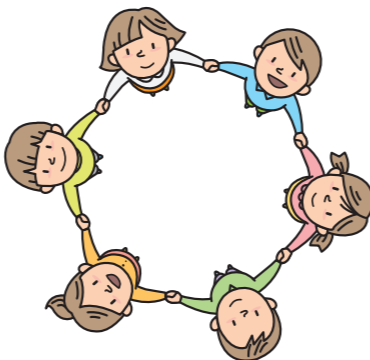
平成30年6月27日 中日新聞

### 特別支援教育の充実について

**ひび美咲** これまで障害のある子どもの就学先は特別支援学級や特別支援学校であったが、平成24年に文部科学省が示した「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」により、就学に関する考え方が大きく変わった。

障害のある子どもは、連続性のある多様な学びの場として、通常の学級、通級指導教室、特別支援学級、特別支援学校、と本人や保護者の意向を最大限尊重して選択できるようになった。これにより、通常の学級を選択することが多くなると考えられる。

本市では以前から学校生活介助アシスタントの配置、専門家チームの派遣、発達障害対応支援員の配置など、施策の充実が着々と図られているが、一方で、介助を必要とする子どもの増加により、1人当たりの配置時間数が希望どおりにいかないという課題がある。学校生活介助アシスタントの配置は大変有効だと考えるが、今後、時間数を増加するなど事業の拡充についてどう考えているかを聞かせていただきたい。



**教育委員長** 障害のある子どもとない子どもがともに学ぶ共生社会の実現は大変重要な課題だと認識している。インクルーシブ教育システムの推進に当たり、今後も通常学級で学ぶ障害のある子どもが必要な支援を受けられるよう、学校生活介助アシスタント事業のさらなる充実に努めていきたいと考えている。

### インクルーシブ教育システムとは……

障害のある子どもと障害のない子供がともに学ぶ共生社会の実現に向けた仕組みのこと。



# 名古屋市会ニュース

## 2019年度 予算要望より

2019年度の名古屋市の予算執行に関する要望書を、名古屋民主市会議員団として提出しました。その中から一部を抜粋してご紹介します。

### 大切な子どもたちを社会全体で守るために。



児童虐待の予防および早期発見のために、区役所、民生・児童委員、学校、保育所、病院、警察関係機関および地域諸団体との連携強化が必要です。また、該当家庭への積極的な介入を図り、児童の保護や支援に万全を期すこと。急増する児童虐待相談にも迅速・的確に対応できるよう、児童相談所の人員配置などの体制強化を要望しました。

### 教育改革の推進

名古屋市の教育施策の充実のため、小中学校における学級編成基準を全学年30人とするなど、教職員定数全体を充実させるとともに、多様な教育課題、教員の多忙化等に対応するための教員配置を行うなど、学校現場の実情に応じた人員体制とすることを要望しました。



### 骨髄バンクの普及啓発と、患者や家族を支える環境の整備



骨髄等の移植をより一層推進するため、正しい知識の普及に努めるとともに、平成29年度から始まった「ドナーおよび事業者に対する助成制度」について広報をしっかりと行うこと。また助成制度の県内拡大に向け、愛知県に働きかけることを要望しました。

### ひび美咲応援団を募集しています!

ひび美咲に力を貸してくださるボランティアさんを募集中です。ご登録をいただいた方には、各種イベントのご案内や活動レポートをお送りさせていただきます。

ひび美咲事務所(Tel.777-3193もしくはhibikenoffice@hibiken.com)までお名前とご住所をお知らせいただければ、ご検討用の資料をお送りいたします。後援会についてもお問い合わせください。よろしく願い申し上げます。

